



第67回ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞受賞

ソフィア・ Coppola 監督最新作

『マリー・アントワネット』『ロスト・イン・トランスレーション』(第76回アカデミー賞 脚本賞受賞)

# SOMEWHERE

スティーヴン・ドーフ

エル・ファニング

監督・脚本:ソフィア・ Coppola 出演:スティーヴン・ドーフ エル・ファニング クリス・ボンティアス 配給:東北新社 宣伝:ミラクルヴォイス [www.somewhere-movie.jp](http://www.somewhere-movie.jp)

FOCUS FEATURES PRESENTS IN ASSOCIATION WITH PATHE DISTRIBUTION MEDUSA FILM TOKOKUSHINSHA AN AMERICAN ZETROPE PRODUCTION "SOMEWHERE" STEPHEN DORFF ELLE FANNING MUSIC BY PHOENIX COSTUME DESIGNER STACEY BATTAT EDITOR SARAH FLACK A.C.E. EXECUTIVE PRODUCERS ANNE ROSS DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY HARRIS SAVIDES, A.S.C. PRODUCED BY FRANCIS FORD COPPOLA PAUL RASSAM FRED ROOS PRODUCERS G. MAC BROWN ROMAN COPPOLA SOFIA COPPOLA WRITTEN BY AND DIRECTED BY SOFIA COPPOLA







父にとって、それは忘れかけていた日常。  
娘にとって、それは忘れられない時間——。

「マリイ・アントワネット」から4年。

第67回ヴェネチア映画祭を制したソフィア・コッポラ待望の新作は、  
ずさんだセレブ生活を送る俳優の父と、ティーンエイジャーになる一歩手前の娘が過ごす、  
かけがえのない日々を描いたハートフルなヒューマンドラマ。舞台はハリウッド伝説のホテル「シャトー・マーマント」。  
フェラーリを乗り回し、退廃的に暮らす映画スター、ジョニー・マルコ(スティーヴン・ドーフ)のもとへ、  
前妻と同居する11歳の娘クレオ(エル・ファニング)がやって来る。  
ひさぶりに娘と過ごす親密な時間のなか、ジョニーはやがて気付いていく——自堕落な生き方が置き去りにしてきた大切な何かを。  
「ロスト・イン・トランスレーション」をはじめ、孤独にうつろう心を繊細に映し出してきたソフィアが次に表現するのは、  
スウィートな世界観に隠された、ほろ苦い人生の味。

娘と暮らした数日間によって心に変化をもたらした主人公を優しいまなざしで描いた本作は、  
父フランシス・フォード・コッポラとの思い出や、2児の母でもある自らを投影したパーソナルな家族の物語であり、  
彼女の新境地を切りひらく最高傑作となった。

**SOMEWHERE** 第67回ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞受賞!ソフィア・コッポラ監督最新作

監督・脚本:ソフィア・コッポラ 製作:G・マック・ブラウン、ローマン・コッポラ、ソフィア・コッポラ 製作総指揮:フランシス・フォード・コッポラ、フレッド・ルース  
撮影監督:ハリス・サヴィデス プロダクション・デザイン:アン・ロス 編集:サラ・フラック 衣装デザイン:ステイシー・バタット 音楽:フェニックス  
出演:スティーヴン・ドーフ、エル・ファニング、クリス・ボンティアス 2010年/カラー/ビスタ/ドルビーSR・SRD 98分 ©2010 - Somewhere LLC  
配給:東北新社 宣伝:ミラクルヴォイス WEB宣伝:ティー・ペーシック

[www.somewhere-movie.jp](http://www.somewhere-movie.jp)

4.2(sat)全国ロードショー